

香川県綾歌郡綾川町

アジアのMonodzukuri企業への進化 SDGsの取組による国際社会への貢献

医療用の精製水タンクや健康食品の製剤工場向け槽塔類、産業廃棄物処理場の熱交換器をはじめ、全国の浄水場や下水汚泥処理場向けの機器に至るまで、民間と官公庁向けに多分野のステンレス製プラント設備機器を設計・製作。「全ては家族のために～All for the Family」を経営理念として、自国経済の発展は素より、熟練技術による日本のものづくりと国際社会貢献の融合を目指し、SDGsの取組や積極的な海外展開を進行中。

●所在地	香川県綾歌郡綾川町陶1004-35	●設立	1977年
●電話/FAX	087-876-1600/087-876-0300	●資本金	2,500万円
●URL	http://www.suntech.link/	●従業員数	56人
●代表者	代表取締役社長 青木 大海		



地方のモノづくり企業からアジアのMonodzukuri企業へ

2018年に国際協力銀行と民間金融機関から資金調達し、ミャンマーに合弁会社を設立。経済成長によるインフラの整備が見込めるミャンマーの経済特区で、ガソリンスタンド用のガスタンクや受配電システムの製造工場を建設。また、オリーブの絞り粕による水質汚染が問題視されているモロッコで、JICA支援のもと、処理施設の導入実証事業が進行中のほか、2019年には中国現地法人を設立。2021年春にはさらなる海外展開を見据えて新社屋『SUNTECH LEARNING CENTER』が完成する。



ミャンマーの合弁会社

地域経済発展と海外人財戦略の両輪により国際社会に貢献

同社の企業理念は「日本のモノづくりを通じて国際社会を豊かにするために存在するShokunin集団」。自国経済の発展だけでは成り得ない今日、SDGsの概念を取り入れ、得意とするプラント設備機器の技術を強みに、外国人材を多数受け入れ、海外進出を進めることは、地域経済発展と海外人財戦略の両輪により国際貢献を進める共通解となる。その第一歩としてミャンマーに設立した合弁会社は、同社と、配電盤・電力制御装置等の製造・販売を行う地域内の企業が連携して立ちあげた。



ABEイニシアティブ インターン生

SDGsの取組により食品ロス削減や海外の課題を解決

多業種多品目のプラント設備機器を製作するが、特に今年成立した食品ロス削減推進法や、近年浸透してきたSDGsの観点から、食品廃棄物の処理に関するニーズが高まり、同社が製作する油温減圧式乾燥機（クッカー）が首都圏や地方都市の資源化工場に広く導入され始めている。さらに、この技術を活かして、モロッコにおいて、オリーブオイルの搾油粕から二番絞り油を抽出し、脱油搾油粕から飼料や肥料を製造する実証事業に取り組んでおり、今後モロッコを拠点とした海外市場への参入が期待されている。



油温減圧式乾燥機「クッカー」